

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和7年9月25日

和泉市長 へ

一般社団法人
団体名 いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会
代表者名 代表理事 樽本知子
所在地 大阪府和泉市一条院町12番地
電話番号 0725-46-3563（事務局）








和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	ハートフルフェスタ 2026
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース ■ ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	730,000 円 (うち、対象経費 690,000 円)
支援金 交付申請額	345,000 円

1. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

団体概要調書

フリガナ	イッパンシャダンホウジン イズミショウガイフクシサービスジギョウ ショダンタイレンゴウカイ		
団体名	一般社団法人いずみ障がい福祉サービス事業所団体連合会		
団体の目的	障がい福祉サービス事業所とその事業所を支える個人や地域の活力を引き出し、泉州福祉圏域の自立的な発展と、障がいのある方やその家族の生活の質の向上を図ることをその使命に掲げ、これにより「共に生きる社会」の実現を担う者として、障がいのある方やその家族、行政と共にその実現に寄与することを目的とする。		
市内事務所の所在地	〒594-0054 和泉市一条院町 12 番地		
	【専用事務所 ・ 住居と兼用 ・ <input checked="" type="checkbox"/> その他（共有事務所）】		
	電 話	0725 (46) 3563	F A X 
フリガナ	タルモト トモコ		
代表者氏名	樽本 知子		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ 	電 話	
		F A X	
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。 		
設 立 年 月	平成 27 年 7 月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 (<input type="checkbox"/> 回発行) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	会員数	17 人
メールアドレス			
ホームページ	http:// www.facebook.com/syousaren		
主な事業内容	各種イベントを通じた会員事業所利用者の地域交流や日頃の活動の発表の場づくり、障がいや障がいのある方の理解の啓発、障がいのある方たちの、会員事業所間共通の課題収集と解決、障がい福祉の増進をはかるための意見集約と発信、障がい福祉サービスに従事する人材の育成など。		
主な活動の実績	<ul style="list-style-type: none"> ■ ところ ともに いずみ インクルーシブフェスティバル 共催。(主催 和泉市) ■ ハートフルフェスタ 2025 11月18日 実施予定 ■ 和泉市施策推進協議会、福祉とまちづくり委員会等 		

	関係機関・団体として会議へ出席。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額(円)

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	ハートフルフェスタ 2026
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
<p>① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 多様性を認める社会やユニバーサルデザインや合理的配慮などが求められる今、各福祉サービス事業所それぞれでその課題について色々な活動などを通じて頑張っているが、点が線や面にならない状況が続いていて、本当の意味での地域交流などの機会が少ない。</p> <p>② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 障がいのある方や障がいについて、社会に誤解をうけるのは、障がいのある方や障がいについて理解されていないから。感動の対象にされるのではなく、自主的に地域へ参加するイベントを開催することで、お互いを知るという目的を共有し、障がいのある方もない方も、支援者もボランティアも分け隔てなく一緒に楽しむ。その中で、時代が必要としている課題に参加者それぞれが取り組み、新しい自分を発見できるということにつながるため。また、和泉市のまちづくりの目標でもある安全・安心の促進や和泉市の目指す将来像にあるスマイル都市への一翼を担うことで、我々の活動が、広く和泉市民の方たちに理解を得られることにつながり、地域へ貢献できることになる。</p>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 実施する内容として、障がい当事者らによる発表、ゲストを招きプロによる芸術に触れる機会、各事業所の自主製品の販売を行います。そして、来賓を招き、これらの場所と時間を共有することで障がい福祉分野の取り組みについて知ってもらう機会をつくることとなります。</p> <p>イベントの企画から運営までを障がいを抱える当事者らが力を集結し、団結し、取り組むことで、成長につながる。また、発表を通しての成長等。</p> <p>さらに、当事者らを支える事業所も団結し、イベントの実現に尽力することで、互いの関係を強固にすることができる。</p> <p>また、ゲスト、舞台を整備していただく方々、イベントに参加して下さる一般の方等、これらの人達は外部からの参画、参加となり、障がい者との関りを一定時間持つことにより、障がい福祉への理解につながる機会となることを期待している。</p>	
③ 実施期間（日時）	2026年11月17日（火） 13:00 ～ 15:00
③実施場所	和泉シティプラザ弥生の風ホール
④主な対象者	和泉市の一般の方、地域の障がいのある方と支援者とその家族など
⑤参加予定者数	500人
⑥告知方法	ポスター、チラシ、いずみ広報、TikTok 等各種SNS、協力者のホームページ掲載等

5 事業スケジュール	
次期(月)	内容
2025.11	■ 会場予約(開場予定:弥生の風ホール)
2026.6	■ ハートフルフェスタ2026実行委員会 発足 ■ 企画・予算の決定
2026.7	■ 第1回 実行委員会 前回イベントを参考に企画の内容検討、役割分担、ゲスト案等。
2026.9	■ 第2回 実行委員会 プログラム、フライヤー、ポスター、等の広報に関する打合せ
2026.10	■ 第3回 実行委員会 ゲストを含む、進捗の確認、方針の修正等
2026.11	■ 広報開始 ■ 第4回 実行委員会 最終確認、司会原稿の読み合わせ等 ■ 協賛金の募集 ■ 本番
6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 (実施事業について、どのような点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)	
①公益性	障がい者(児)福祉において、国の目指す形である“インクルーシブ”においても、まずは障がいのある方とのふれあいから始まると考えられるため、イベントを通じて、準備の段階から幅広く、色んな人たちと作り上げることに意義があると考えています。
②継続性	資金面においては、主に社員(福祉事業所)からの会費により賄っています。しかし、より盛大に、迫力のあるイベントにするために助成を希望しています。本イベントが「盛大に、迫力あるイベント」を実現することで、障がいのない人が当たり前味わうコンサートや観劇等と同様に、本イベントを“社会参加の一つとして、体験し、感動し、学ぶ機会”になると考えています。 また、体制面は、加盟している事業所が17あり、このうちから利用者が13名(毎年変動)希望され、実行委員となり、イベントを実施しております。なお、加盟されている事業所は脱退などもなく、常時協力しあいながらあらゆる事業に携わっており、協調性をもって幅広く取り組んでいると自負しております。
③実行性	イベント開催に際し、これまでも社員である法人格を持つ団体の力を結集して取り組んでいるため、安定的に実施できている。 さらに、こうした土台を軸に障がい者自身の関心や積極性をあおりつつ、「自分たちで作るイベント」という部分でさらに発展することを目指す。このために、実行委員を務める当事者らの成長を育みつつ、スキルを熟練させ、伝統として後輩に引き継いでいけるような組織とすることに取り組む。
④ 協働性	当会の目的でもある「共生社会の実現」という観点からも、当会以外の参加を促すべく、広報に力を入れ、外部からの参加者らと一緒に“見る、聞く、体験することにより、空間を共有する”ことの実現を目指す。
⑤ 公開性	和泉市内を中心により多くの人に知ってもらうために、各所へのチラシの配布、ポスター掲示を始め、SNSの活用。これのための協力体制の構築等を行っている。主に、和泉市内に点在する福祉事業所への広報、拡散や和泉市観光おもてなし処、シティプラザに協力いただいています。

⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	前置きとして、障がい者は、日々の生活において「家族に決められる」、「できることが少ない」等、とたく選択肢が少ない状況にあります。こうした背景からも内容のうち、大きな目玉である「特別ゲスト」について、障がい者からの意見を下に「与えられる」のではなく、「自ら選ぶ」という点において、他の障がい福祉関係のイベントにはないものと自負している。
--------------------------------	---

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

収支予算書

事業の名称： ハートフルフェスタ 2026

1. 【収 入】 (単位：円)

項 目	金 額	積算根拠
支援金	345,000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	250,000	企業等からの協賛金
自主財源	135,000	当法人事業費
合 計	730,000	

2. 【支 出】 (単位：円)

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	270,000	<input type="checkbox"/> ゲスト出演料 アルパ奏者（予定）1組 <input type="checkbox"/> 手話通訳者派遣 2名 <input type="checkbox"/> 要約筆記者派遣料 4名
印刷製本費	100,000	<input type="checkbox"/> A4チラシカラー（片面）×1,500枚 <input type="checkbox"/> A2ポスターカラー（片面）×50枚 <input type="checkbox"/> プログラムカラー（両面）×500枚 <input type="checkbox"/> 差し込みカラー（片面）×500枚
役務費	5,000	<input type="checkbox"/> イベント保険料、各振込手数料
使用料	315,000	<input type="checkbox"/> 弥生の風ホール使用料（50,000円） <input type="checkbox"/> 舞台使用料（250,000円） <input type="checkbox"/> 楽屋使用料（10,000円） <input type="checkbox"/> 著作権使用料 JASRAC（5,000円）
消耗品費（対象外）	10,000	<input type="checkbox"/> 実行委員ジャンパー製作費 10着 <input type="checkbox"/> ゲストへの花束 5個 <input type="checkbox"/> ゲストへの粗品 1個
食糧費（対象外）	30,000	<input type="checkbox"/> 実行委員等の弁当・お茶代 （1,000円×30人）
合 計	730,000	
対象経費	690,000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。